# 令和5年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

自治体名	東京都
------	-----

### 【基本情報】

フリガナ	イッパンシャダンホウジンボケット						
法人名	法人名 一般社団法人ぼけっと						
フリガナ	ハッタツシエンルーム ポケット						
事業所名	発達支援ルーム ぼけっと						
	提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)						
	放課後等デイサービス						
職員数(常勤換算数) 【「全職員	職員数(常動換算数) 【「全職員の月間動務時間数」/「常動職員の月間動務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】						
7.4 人							
ICT機器等導入完了日	令和 5 年 11 月 27 日						

#### ※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	)一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
職員間の情報伝達・情報共有	)一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
請求業務	2)一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
勤怠管理	③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている)
シフト表作成	③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている)
給与業務	③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている)

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

## (2)モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備考
③タブレット		iPad Air Wi-Fiモデル10.9インチ	1	

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
  - 情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
  - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
  - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「 $ext{ iny $0$}$ その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化(職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

- (3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況
- ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

		発生件数		C. 1件当たりの 年間業務時間		1人あたり	
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)	平均処理時間	中间来房时间 D (B×C)	業務時間 (D/業務従事者数)	備考
⑦その他	1人	250 件	3,000 件	1分	50 時間	50 時間	出欠入力
③請求業務	1人	250 件	3,000 件	5分	250 時間	250 時間	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
	500 件	6,000 件	6分	300 時間	#DIV/0!		

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

2 N/ 1 × A	** 1. □ W 4 / 11 20 4 / 4 # 6 6 11 1	4.14
< * 1 > A	ひと月当たり発生件数の算出。	カオ

- スートス、ひとか当たり先工目数の発出が広
1日の利用者数 (10人) ×月の営業日数 (25日) = 250件

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

業務にかかった時間				

### ② ICT機器等導入後の業務時間内訳

○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□							
		発生件数		C. 1件当たりの	年間業務時間	1人あたり	
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数	平均処理時間 D (B×C)		業務時間	備考
		発生件数	(A×12)		(D/業務従事者数)		
⑦その他	5人	250 件	3,000 件	1分	50 時間		
③請求業務	1人	250 件	3,000 件	3分	150 時間	150 時間	
			0件		0 時間	#DIV/0!	
			0件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間		
		500 件	6,000 件	4分	200 時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④動怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1	ロの利用有数	(10)	^ 月の呂未口奴	(25日)	- 2501

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

### 年間業務時間数削減率(%)

33.3%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

### ③ ICT機器等導入前の作成文書量

	作成文書量		
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)	
		0ページ	
		0 ベージ	
		0 ベージ	
	0 ページ	0ページ	

### ④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0ページ	0ページ

# 年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果	
① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法	Name of the state
事前に請求業務のソフトをタブレット対応のものに変更した。その後、タブレットの導入により、請	水業務ソフトを利用できるようにすることで、請求担当者以外も実績の入力が行えるように導入を推進した。
※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部・	△ の担談かじ) た記載し アノゼキレ
※事業所において、に「機器等の導入をとめまうに進めたが、「事業所内の推進体制、外部で また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、そ	
また、事業所には「機能等の等人にめたり工人した点、自力した点がありましたり、で	ク無も心味してくたです。
②ICT機器等の導入による業務の変化 (複数選択可)	
情報端末導入による効果	ソフトウェア導入による効果
1 支援記録の作成に要する時間が減った。	□ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
□ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
4 利用者の情報を一元管理できるようになった。	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
□ 6 効果がなかった。	□ 6 その他の効果があった。
	7 効果がなかった。
※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。	※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。
タブレットの導入により、利用者の出欠をすぐに入力できるようになった。	
シングトの寺人により、利用物の山太子 4 くに入力 くさるようにように。	
②167後男生の第1にレク学数が本ルルが陰島の学数名和教徒の生活	
③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況 今まで1人の職員が出欠(実績)の入力を担当していたが、タブレットの導入により他の職員も入力が	が カキスト シにかり 学数の 一種 作 市 が 煙和 され た
ラまで1人の概点が出入(天順)の人力を担当していたが、メブレットの学人により他の概点 6人力が	7 ととも 7 になり、 未3万ツ 122末下月 級用ですがに。
※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られ	
具体的に記載してください。	
④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法	
療育の準備と片付けに時間をかけることができるようになった。	
定期的な打ち合わせの時間を作ることができるようになった。	
※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどの	ような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。
(5) ICT機器等の導入による費用面での効果	
ICT機器等の導入による費用の縮減 無	
※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いしま	す。
外之社 <b>数</b> 写	
縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1) サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	
リーし人の貝の向上に除る収組への尤目(※ Z)	

(※1) 「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

(※2) 「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。